


現代美術のしがらみありありあ

SHIRIAGARI KOTOBUKI NO GENDAI BIJUTSU

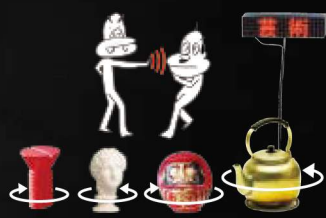
◎・転・展

"KAI・TEN・TEN" Turn, Turn, Turn more!

あいちトリエンナーレ2016 並行企画事業

 虹のキャラバンサライ
 あいちトリエンナーレ2016
 並行企画事業

2016
9.17 [SAT.] → **11.6** [SUN.]

【開館時間】9:00～17:00 (入館は16:30まで)
 【休館日】月曜日(9/19・10/10は開館)、9/20 [火]、23 [金]・10/11 [火]・11/4 [金]
 【入場料】一般 900円(700円)、学生 700円(500円) *中学生以下は無料
 *()内は前売及び20名以上の団体料金
 *前売券は、刈谷市美術館、刈谷駅前観光案内所、刈谷市総合文化センター、高浜市やきもの里から美術館、チケットぴあ(Pコード=767-743)の取扱いのあるコンビニエンスストア(セブン・イレブン、サークルK・サンクス)などで9/16 [金]まで販売
 *身体障害者、精神障害者保健福祉、療育の各手帳所持者及び付添いの方(1名)は入場無料。入場の際に手帳をご提示ください
 【主催】刈谷市美術館 / 朝日新聞社 【後援】愛知県教育委員会 【協力】国際ディスプレイ工業 / スーパー・ファクトリー

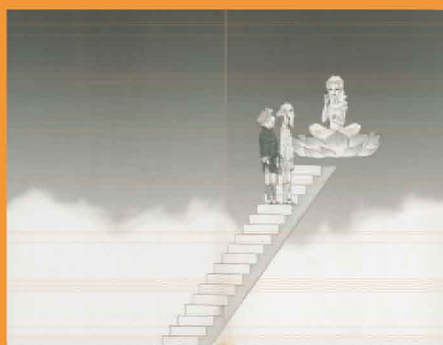


刈谷市美術館
 KARIYA CITY ART MUSEUM

しりあがり寿の現代美術

◎・転・展

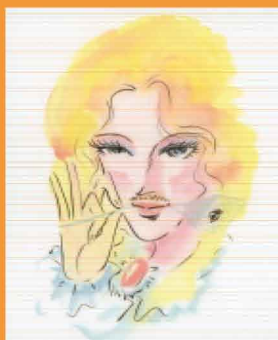
“KAI・TEN・TEN” Turn, Turn, Turn more!
「回せ 回せ、もっと回せ！」



「弥次喜多 in DEEP」原画 『月刊コミックビーム』2000年1月号掲載



左:「地球防衛家のヒトビト」原画 朝日新聞2002年4月1日掲載
右:「真ヒゲのOL 敷内笹子」カバーイラスト原画 2003年



《回転派のアトリエ》2013・2014年 @ art space kimura ASK ?



《回転体は行進するダルマの夢を視る》
2014年 @ 彫刻の森美術館

※背景写真《回るヤカン》2016年

本展入場券(半券も可)を次の展覧会で見せて、得しよう!
◎各展共通:1枚につき1名様有効。各種割引の併用不可

「あいちトリエンナーレ 2016 (国際展)と相互割引」
国際展(8/11~10/23)の当日チケットが200円割引
*トリエンナーレのチケットで、本展『回・転・展』当日入場料200円割引

「高浜市やきもの里かわら美術館」
「さらももの世界展」(11/5~12/25) 当日券が2割引

『回・転・展』特設サイト
<http://www.saruhage.com/kaiten/>

しりあがり寿(1958~)は、「弥次喜多 in DEEP」や朝日新聞に連載中の「地球防衛家のヒトビト」をはじめ、数多くの独特の批評精神に満ちたギャグマンガで知られています。その仕事は文藝春秋漫画賞や手塚治虫文化賞マンガ優秀賞を受賞するなど高い評価を得ており、最近では、東日本大震災後の日本をテーマにしたマンガ集「あの日からのマンガ」が大きな話題となりました。また日本大学芸術学部や神戸芸術工科大学では長年に渡り学生の指導にあたっています。その一方で、墨絵やアニメーションなどの手法を用いて、自身のマンガと関連しながらもそれ自体で自律した現代美術作品も発表。また近年、様々なものを回転させる一連のインスタレーション作品も展開させています。自身初の美術館での個展となる本展では、これまでの多様な仕事に触れつつ、回転インスタレーションを中心に新作を展開します。さらに美術館隣の茶室では、室内を埋めつくす墨絵インスタレーションや障子マンガ?も発表します。絵画作品やジオラマ、日常品から映像まで、あらゆるものが回転する展示室。回転とは?芸術とは?「漫画家しりあがり寿」とは一味違う、新しい「しりあがり寿ワールド」が体感できる展覧会です。

展覧会関連事業

1 しりあがり寿の障子マンガ? 公開制作

茶室に展示する新作マンガによる墨絵インスタレーションを公開制作で完成させます。

日時: 9月17日[土] 11:00 - 12:30

会場: 美術館1Fロビー

◎申込不要。参加無料 ※ただし当日入場券が必要

2 対談 しりあがり寿 × 祖父江慎 (グラフィックデザイナー)

マンガの装丁デザインなど、しりあがり作品を数多く手掛ける祖父江慎さん(1959年愛知県生まれ)をゲストにお招きし、これまでの仕事や本展について語っていただきます。

日時: 10月29日[土] 13:30 - 15:00

会場: 刈谷市中央図書館3階大会議室(美術館隣)

定員: 190名(要整理券)

◎参加無料。整理券は、12:00から美術館1階で配付(先着順)
◎対談終了後、参加者は入場券(当日以外の半券も可)の提示で美術館に再入場可(当日に限る)

3 障子マンガ? に囲まれた和室でお抹茶を愉しむ

コマ割り型の障子マンガ?などが展示された広間で、「回る!」和菓子(数量限定)と抹茶でおもてなし致します。

日時: 展覧会開催日の毎日 13:00 - 15:30

会場: 茶室・佐喜知庵(美術館敷地内)

費用: 300円(呈茶料を含む)

◎和室(広間)の作品公開は、この時間帯のみです

◎和室(小間)での墨絵インスタレーションは、美術館の開館時間内いつでも、無料でご覧いただけます

4 文化の日は美術館で過ごそう。親子無料デー!

親子無料デー!

11月3日[木・祝]は、中学生以下のお子様1名につき保護者2名が無料で入場できます。

【だれでも参加できる無料プログラム】
いろんな“回る”をつくってみよう!

日時: 11月3日[木・祝] 13:00 - 16:00

講師: 山口百子さん(美術家)

会場: 美術館2階研修室

◎当日随時受付 ※ただし材料がなくなり次第終了

5 学芸員と展示室を“回る”ギャラリートーク

日時: 9月22日[木・祝]・10月15日[土]、27日[木] 13:00 - 40分程度

◎申込不要。参加無料 ※ただし当日入場券が必要



刈谷市美術館

KARIYA CITY ART MUSEUM

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
TEL:0566-23-1636 FAX:0566-26-0511
<http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>

交通のご案内

電車 JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分

車 名古屋方面より:国道23号線(知立バイパス)「一ツ木IC」から約5km

※無料駐車場あり(60台)



「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分